

令和7年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験
ロジスティクス分野
1級 ロジスティクス

試験問題

(4 ページ)

1. 試験時間 150 分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、2題あります。なお、問題2は選択式問題となります。選択式問題を選択せずに複数の問題に解答した場合、当該問題は採点の対象としませんのでご注意ください。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配 点) 問題1 40点、問題2 60点、合計 100点
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上且つ問題ごとに30%以上の得点。
- (5) 関係法令、会計基準、J I S等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和7年5月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) 解答用紙は、問題ごとに各1枚あります。すべての解答用紙に、必ず、①生年月日、②受験番号、③座席番号、④氏名を正確に記入してください。なお、受験番号の最後の桁は、アルファベットですので、数字と間違えないように注意してください。
- (7) 解答には、HB又はBの黒鉛筆を使用し、問題文に従って、解答用紙に楷書で丁寧^{かい}に記入してください。なお、判読できない場合には、解答が無効となる場合がありますので、注意してください。
- (8) 解答に当たっては、問題ごとの解答用紙(各1枚)を使用してください。なお、文字数の制限はありません。ただし、解答は、解答欄内のみに記入し、裏面や余白は使用しないでください。
- (9) 下書きや計算等が必要な場合には、下書き用紙を使用してください。
- (10) 記述されている内容の正確さ・専門性に加え、結論に至る論理展開、記載形式、文字の正確さ・丁寧さ等、読み易さも採点の対象となりますので、解答に当たっては、その旨も留意してください。なお、論述に当たっては、文章を補助するため、図表等を使用しても構いません。
- (11) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (12) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (13) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (14) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (15) 試験終了後、解答用紙を必ず提出してください。ただし、試験問題及び下書き用紙は、持ち帰ることができます。なお、解答用紙が提出されていない場合は、失格となります。
- (16) カンニング行為(他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机の上に置くこと等)、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (17) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

〔配点：40点〕

問題1 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

【文章】

総合物流施策大綱(2021年度～2025年度)においては、我が国が直面する課題の一つとして、「災害の激甚化・頻発化と国民の安全・安心の確保」が挙げられている。そして、これに対応する施策の一つとして、事業継続計画(BCP)の策定が求められている。

しかしながら、大手物流事業者の取組はある程度進んでいるものの、中小物流事業者の取組は進んでいない。物流はサプライチェーンに深く関わっていることから、関連する全ての企業において事業継続計画(BCP)の整備が求められる。

【設問1】

事業継続計画(BCP)とは、どのような計画のことか、数行程度で簡潔に説明しなさい。

【設問2】

事業継続計画(BCP)を策定する際の内容について、想定する立場(製造業、小売業、物流業など)を明確に記載した上で、物流の機能を維持することに焦点を当てて説明しなさい。

〔配点：60点〕

問題2 【事例問題A】～【事例問題B】のいずれかを選択した上で問題を読み、それぞれの設問に答えなさい。

なお、【事例問題A】は荷主のロジスティクスに関わる問題、【事例問題B】は物流業のロジスティクスに関わる問題です。現在の職種や勤務状況に関わらず、自由に選択してください。

【事例問題A】荷主のロジスティクスに関わる問題

（1）A社のロジスティクス及び運送委託の概要

A社は、建材等を扱う中小規模の製造業であり、自社製品を工場から顧客（自社営業圏域内の工務店や施工現場）に納品している。

納品輸送については、10台程度のトラックを保有する地場運送会社B社に貸切輸送を委託しており、同社との間で継続契約を結んだ上で、運賃については覚書で定めている。B社の運賃は他社よりも安価な水準である。

輸送の実態としては、納品先の状況によって長時間の待機が生じることがあり、そのため、ドライバーの残業が度々発生していることをA社としても認識している。現行契約では、時間制運賃に基づく定額の運賃を車種別に取り決めているが、その時間外まで待機することがあるにもかかわらず、待機料等は支払っていない。また、燃料サーチャージ等も導入していない。但し、高速道路利用が必要な場合、事前確認の上、支払うことはある。

（2）B社からの運賃値上げの要請

この度、A社の物流部長であるX氏は、B社の営業部長の訪問を受け、「運賃値上げのお願い」という文書を渡された。

同文書には、「長時間待機等に起因する人件費の増大、折からの燃料高騰等により経営が厳しく、翌々月（2ヶ月後）より一律20%の値上げをお願いしたい」という旨が、記載されていた。また、口頭では、待機に加え、不合理な時間指定があること、事前に調整のなかった荷役作業の実施等の輸送条件の悪化がコスト高の一因であり、大きな課題である旨の指摘があった。

（3）A社としての対応

X氏個人としては、B社は重要なパートナーと認識しており、できるだけ要望に応えたいと考えている。一方、A社は業績が低迷しており、近年は赤字基調に陥っている。20%といった運賃値上げは、社長を含む役員の下承が必要であり、自社の事情を鑑みるとX氏個人の意思に関わらず、下承を得ることは容易ではないと感じられる。

また、2ヶ月後の予算は既に決まっているという事情があり、多少の予備費はあるものの、現段階で希望通り運賃を積み増すには、人件費など他のコストを減らす以外に考えにくい状況でもある。

以上を踏まえ、B社には、A社側の厳しい状況も率直に伝えたところ、B社の営業部長は納得はしていない様子であったが、「改めて検討させて欲しい」旨、伝えた上で、その場は引きとってもらった。

【設問 1】

B 社と運賃交渉を進めるに当たって、A 社の物流部長である X 氏が留意すべきポイントは何
か、記述しなさい。

【設問 2】

値上げを含めた各種対応策のうち、A 社として採ることが望ましい対応策としては、具体的
にどのようなものが考えられるか、記述しなさい。

【事例問題B】物流業のロジスティクスに関わる問題**（１）倉庫会社A社の事業概要**

倉庫会社A社は、自社の営業倉庫を運営するほか、荷主企業の自家倉庫の運営も請け負っている。A社に自家倉庫の運営業務を委託している荷主企業の１社に、輸送機械メーカーのB社がある。

（２）B社倉庫における倉庫業務

B社の自家倉庫で、A社は、各部品会社から納入された部品の保管とB社の指示による工場への納入、一部部品の簡易な組立加工（流通加工）も受託している。取扱部品は、合成樹脂や金属製の車体部品など大きな物からビス・ナット・電線のような小さな部品まであり、材質は金属・プラスチックなど様々、荷姿も無容器のまま結束したもの・段ボール・折りたたみコンテナ・ビニール包装など様々である。

（３）B社倉庫の業務実態

B社倉庫は、竣工から長い年数が経過し、壁や床などの一部に傷みがでている上に広さが十分ではなく、流通加工や仕分けなどは荷さばきスペースの一角を利用している状況である。作業を行っている脇を、貨物を積んだフォークリフトが行き交っているので、「フォークリフト注意」と柱などに掲示している。また、保管スペースは貨物を平置きするには狭すぎて、天井までパレットラックを組み上げて貨物を収納している。

（４）A社の雇用状況とB社倉庫内の労働災害

A社では、従業員の高齢化が進行し、退職者も増えている。そのため、不足する従業員を補うため広く募集をかけているが、応募者は高年齢者や日系３世の定住者、パートタイマー、アルバイト等にほぼ限られる。日系人はまだ日本語に不自由な人も多い。これまでは安全管理体制に不十分な点があっても、熟練した従業員が業務に当たってきたので、労働災害は少なかったが、最近、B社倉庫内で業務経験の少ない従業員の労働災害が増えてきている。

【設問１】

B社倉庫で、どのような労働災害が増えていると考えられるか、想定される労働災害の発生状況と類型（内容）を列記しなさい。

【設問２】

設問１で解答した労働災害の発生原因と、既存のB社倉庫業務における防止対策を記述しなさい。